

名称：市立大洲病院 防災タイムライン『栄養管理室』		(第1版 2019.12) 策定・更新：市立大洲病院災害対策チーム			
防災フェーズ	策定目的：当院の患者と職員の安全確保 および 施設の被災を最小限にして医療行為を継続するため	だれが	各部門に必要な固有で細分化された『各部門編タイムライン』は、本紙を雛形に各部門で策定する。		
	対象災害：暴風、大雨、河川氾濫	本部			
	被災想定：建物への浸水、道路冠水などによる孤立	事務課			
	いつ (OR条件)	なにを (誰でもわかる明確な内容、同一フェーズ内は順不同)	備考		
フェーズⅠ	気象庁の警戒レベル2 ・大雨注意報 ・洪水注意報 ・高潮注意報 ・はん濫注意報	台風が集中豪雨 ・発生 ・接近予測の72～48時間前	河川の状況 【はん濫注意水位】 ・大洲第2水位観測所 の水位3.8m	この行は使用せず、この下に新規行を追加する 情報 気象情報、ダム放流情報の確認 (以後、定期的に継続) 情報 近隣河川の水位を確認 (以後、定期的に継続) 関連部門	栄養管理室 ★災害対策本部が指揮命令 ●全部門にまたがる行動のとりまとめ部門 ○行動する部門
フェーズⅡ	気象庁の警戒レベル3 ・大雨警報 ・洪水警報 ・高潮注意報 (警報切替の可能性あり) ・はん濫警戒情報	台風が集中豪雨 ・進路上にあり ・接近予測の48～24時間前	河川の状況 【はん濫危険水位 (無堤)】 ・大洲第2水位観測所 の水位4.8m	この行は使用せず、この下に新規行を追加する 情報 通行止め等の道路状況を確認 (以後、定期的に継続) 情報 大洲市危機管理課と情報共有 (以後、継続) 情報 他院と救急体制を確認 (被災した場合の連携など) 情報 停電時非常時の外部連絡先を再確認 モノ 防災備品の在庫確認 関連部門 食料、飲料水の在庫確認 (状況に応じて発注も行う) 関連部門 給食委託業者との体制の再確認	目的：職員の安全確保、施設の保全、医療機器の保全 (懐中電灯+電池、ヘルメット、カムテープ、軍手、防水テープ、水費用ビニール袋etc.) ○勤務距離など人材の危険リスクを減らすため。
フェーズⅢ	災害発生への恐れ (台風・豪雨の接近が休日・深夜) があれば業務と並行して「仮設置」する	災害対策本部《仮》設置		《仮》災害対策本部は、1階事務課に設置	
フェーズⅢ	気象庁の警戒レベル4 ・土砂災害警報 ・暴風警報 ・高潮警報 ・はん濫危険情報	台風が集中豪雨 ・接近中 ・接近予測の24～12時間前	河川の状況 【はん濫危険水位 (有堤)】 ・大洲第2水位観測所 の水位5.8m	この行は使用せず、この下に新規行を追加する 本部 防災タイムラインの再確認をする (役割・体制の把握) ★ ● ○ 本部 被災予想時間が外来と重なる場合、外来診療の継続の有無を判断し告知する ★ ● ○ 本部 時系列の記録 (クロノロジー) 開始 (ホワイトボードまたはPC、紙ノートでも可) ★ ● ○ ヒト 災害対策本部《仮》設置時点の、医師を含む全職員の勤務調整(1) とりまとめ担当：事務課 (正式設置の際の準備として) ● ○ ○ モノ ラジオ、防災無線など最低ラインの通信手段が使えるか確認 (電池も) ● ● ● モノ 屋上、階段室の確認 ● ● ● モノ 全ての窓を施錠、カーテンやブラインドを閉める ● ○ ● モノ バランダや窓の下に動かせるモノがあれば撤去 ● ○ ● モノ 屋外の備品撤去 ● ● ● モノ 非常用電源の作動確認 ● ● ● モノ 充電できる機器は充電する (院内PHS,携帯電話も含む) ● ● ○ モノ PCと周辺機器のケーブルに、外しても戻せる目印をつけ、写真を撮る ● ● ○ 防水 「水囊」準備①ビニール袋②水囊マップ③分担 ★ ● ○ 関連部門 PHSの充電790 ○ ○ ○ 関連部門 入院患者の飲料水、食料、備品などの必要数と在庫を確認 ○ ○ ○	目的：災害対策本部を設置する前の段階で、予備的に行う (各部門で動員表、帰宅困難者、通勤困難者、通勤経路など調査する) 目的：電話とネットが使えない際の情報収集への備え 目的：浸水時、屋上から救出される場合、屋上に安全に避難できるか？屋上は安全か？など確認 目的：暴風などで窓ガラスが破損した時の飛散防止のため (他部門も協力) 目的：暴風対策 (他部門も協力) 目的：暴風対策 (案内板、カラーコーン、傘立て等) 目的：停電対策 (電源必須の機器は赤コンセントに接続) 目的：停電対策 目的：退避したあとの復旧時に再配線が混乱しないため 事前作成した「水囊マップ」を参照する
フェーズⅣ	災害レベルが上がる恐れがあれば、正式に設置する	災害対策本部《正式》設置		災害対策本部は、1階事務課から3階講堂に移動 本部用ホワイトボード準備	
フェーズⅣ	気象庁の警戒レベル5 ・高潮特別警報 ・大雨特別警報 ・暴風警報 ・高潮警報 ・はん濫発生情報	台風が集中豪雨 ・何らかの被災が確実 ・接近予測の12～6時間前	河川の状況 【はん濫危険水位 (有堤)】 ・大洲第2水位観測所 の水位5.8m	この行は使用せず、この下に新規行を追加する 本部 災害対策本部設置時点の、入院患者、職員数の把握を指示 ★ ● ○ 本部 防災タイムラインの再確認をする (役割・体制の把握) ★ ● ○ 本部 ホワイトボードに時系列の記録 (クロノロジー) 開始 (以後、継続) ★ ● ○ 本部 被災予想時間が外来と重なる場合、外来診療の継続の有無を判断し告知する ★ ● ○ 本部 「災害対策本部設置」を職員向けにメールで周知 (以後、必要に応じてメール送信) ★ ● ○ ヒト 医師を含む全職員の勤務調整(2) とりまとめ担当：事務課 ★ ● ○ ヒト 必要に応じ、屋内託児への切替を検討 (職員の勤怠と連携) ★ ○ ○ モノ 近隣丘陵地のフラワーパーク駐車場の使用許可を取り、敷地内駐車場の車を移動するアナウンスをする ★ ● ○ 防水 ①水囊を作成 ②分担して水囊マップの位置に置く ★ ● ○ 防水 1階の各部屋のコンセントを防水テープでシール ★ ● ○ 防水 各装置の電源を切る ● ○ ○ 防水 ケーブルに目印を付けたPCと周辺機器をデスク上へ退避 ★ ● ○ 防水 移動できない機器がある部門の防水対策 ● ● ○ 防水 各部門の重要な医療機器を退避 ○ ○ ○ 関連部門 委託会社とメニュー変更について立案 (2日分) する ○ ○ ○ 関連部門 臨時調理場の確保 ○ ○ ○ 関連部門 帰宅困難者・待機・夜勤職員へ食事の人数把握 ○ ○ ○ 関連部門 食材料について移動 ○ ○ ○	目的：孤立した場合の飲料水、食料、トイレ、水タンク貯水量などの試算のため 緊急時の情報管理方法 (ふりかえりにも活用) 外来患者の早期帰宅を促す (貼紙や放送で広報) 面会者への同様の対応 目的：災害発生時に職員招集などに支障があるヒトを確認する 臨時の院内保育所は4階に開設する 目的：洪水対策 事前作成した「水囊マップ」を参照 出入り口を最後に防水する 目的：退避したあとの復旧時に再配線が混乱しないため 防水テープで部屋のドア、コンセントをシール 3階講堂へ退避する。
フェーズⅤ	気象庁の警戒レベル5 ・高潮特別警報 ・大雨特別警報 ・暴風警報 ・高潮警報 ・はん濫発生情報	台風が集中豪雨 ・最も接近	河川の状況 ・久米川堤防の越水 ・脇川の堤防決壊	この行は使用せず、この下に新規行を追加する モノ 敷地内、建物内の被害状況の確認 ★ ● ○ モノ 建物に孤立または 帰宅困難者がいる場合：職員休憩室 (待機室) の確保と周知 ★ ● ○ 停電 自家発電の有無を確認、貯水タンクが使用できるか確認 ★ ● ○ 停電 医療機器の電源確保の優先順位に従い、電力事情によって切り分ける内容を再確認 (以後、電力事情によって対応する) ★ ● ○ 停電 【停電】または【停電に備え】エレベータ使用制限 ★ ● ○ 断水 屋上貯水タンクの浄水を計画的に使用するため、節水の周知 (貼紙設置) ★ ● ○ 断水 トイレ用タンクの水を計画的に使用するため、トイレ使用制限 (貼紙やロープ設置) ※1階トイレと各階和式トイレは使用禁止 ★ ● ○ ヒト 医師を含む全職員の勤務調整(3) とりまとめ担当：事務課 ★ ● ○ ヒト 常勤医師、非常勤医師の勤怠と移動手段の確認 ★ ● ○ ヒト 職員の安否確認 (全体または部門単位で) ★ ● ○ 関連部門 入院患者、職員を含めて非常食の切替え ★ ● ○ 関連部門 調理機器の点検 (ガス、電気、水道等) ★ ● ○ 情報 救急輪番病院の被害状況を確認 ★ ● ○	休憩室は、各病棟の空き病室または2階休憩室